

「岡山県鮎釣り選手権」が開催されました

令和元年7月17日、高梁川水系の成羽川で令和元年「岡山県鮎釣り選手権」が盛大に開催されました。この鮎釣り選手権は、岡山県内水面漁業協同組合連合会と開催地の成羽川漁業協同組合が主催で開催したものです（写真1）。昨年は、台風のため鮎釣り大会は中止となりましたが、今年は梅雨の晴れ間を縫って天候にも恵まれました。

選手権当日は、午前7時半からの受付に引き続き、開会式が執り行われました。選手の皆さんは、午前9時から本部でおとりアユを受け取り、その後、思い思いのポイントへ直行し、およそ2時間の釣果を競い合いました

（写真2）。その後、表彰式が行われ集計の結果、今年の団体優勝は、高梁川水系で、個人賞の優勝も、同水系新見漁業協同組合の児玉達哉さんでした（写真3）。おめでとうございます。やはり川とアユの状況を良く把握されていた地元の皆さんが上位を占められました。

さて、今年の岡山県内のアユの状況ですが、各河川とも天然遡上は開始時期が例年より少し遅かったものの、遡上量は例年並みとの情報が入っています。また、解禁後のアユ漁は、稚アユの放流時期に雨が少なく餌となるコケが少なかったためか、小ぶりの物が目立つものの数はまずまずとのことで、今後の成育が期待されます。

最後になりましたが、近年アユ漁は不漁の年が多いのですが、今年こそ各河川でアユフィーバーが起こることを期待しています。

（内水面研究室 杉野）



写真1 大会風景



写真2 大会釣果



写真3 表彰式